

# 白い雲

弁護士 伊藤茂昭 季刊通信

## CONTENTS

- ・新年のご挨拶
- ・兄「伊藤雅治」のこと
- ・宝塚～劇場へ行こう！～
- ・Weblog白い雲 最近のエントリー
- ・シティユーワ法律事務所 弁護士紹介

2012年 新春 **57**号



事務所のある丸の内三井ビルを背景に

## ■ 新年のご挨拶 上を向いて歩こう！

昨年は、大震災、津波、原発事故と大変な年でした。復興へ向けた新しい年としたいと多くの方が念じていることと思います。しかし原発事故による放射能汚染との戦いは、次世代へと続く長い道のりです。加えて、少子高齢化、巨額の財政赤字、エネルギー政策、外交政策、この国の将来は課題山積です。この国難にあたって、政治には、一日も早く戦略的方向性を確定し、全力を挙げてそれを実行する体制をお願いしたいと思います。

一方、国民の側も業界の利益だけを政治に要求したりすることは抑え、耳触りのいい目先の利益誘導で投票する愚から脱却し、賢さ、冷静さ、我慢強さを持たねばなりません。

昨年、ブータンの国王夫妻が来日しました。幸福に対する国王の考え方に共感をおぼえられた方も多かったのではないのでしょうか。

なにが幸せかということは、その人の感じ方であり、なかなか難しい問題です。

昨年ご家族・ご親族をなくされた方からの多くの喪中のあいさつもいただきました。本当に大切な人を失って、つらい日々を送られている方もおられれば、天寿を全うされ

幸せな日々を送られた人を穏やかに見送られた方もおられるでしょう。

きびしい社会環境下にあっても、協力し、助け合い、つつまじやかな家庭生活の中で人生の幸福を実感されている方もおられれば、経済的には豊かであるにもかかわらず、考え方の違いや、家族のことで悩まれている方もおられるでしょう。

こんな時、それぞれの方々の喜びを思う一方で、その方たちの涙も受け止めながら、私は上を向いて歩きたいと思います。空を見つめ上を向いて歩きながらこの新しい年を生きていきたいと思います。仕事を通じ依頼者のためになること、社会的な活動を通じ少しでも世の中のためになれるよう、歩き続けます。

そして身近な人たち、その活動を通して交わりあった方々と、ともに「喜び」、ともに「怒り」、ともに「哀しみ」、ともに「楽」しむことが出来たら、それは至福であると思います。どうか、皆様も上を向いて歩きながら、幸せな一年をお送りください。

2012年1月 弁護士 伊藤 茂昭



## My Brother, My History

# 兄「伊藤雅治」のこと

私は新潟県の糸魚川市という片田舎に育ちました。4人兄弟の末っ子。上から順に、男、女、女、男です。私は、兄の後を追って県立高田高校から医学部に進み、父は息子が2人も医学部に進んだのだから、田舎でどちらかが開業医になってくれると思っていたようです。兄は医師にはなりましたが、厚生省に入り役人になってしまいましたし、私は全くお門違いの弁護士になってしまいました。

父は、母が60歳で亡くなったあと、田舎で一人暮らしを

していました。98歳になった今は、兄が責任を持って東京の施設で介護しています。次男の気楽さからか、私は父が望んだ道には進みませんでしたし、母には本当に、何一つしてあげられませんでした。

そんな兄とは、たまに一緒に食事をしたりしますが、たまたま先日、日本経済新聞の「交遊抄」の欄に兄の原稿が掲載されているのを、私の家族がを見つけました。

以下、2011年11月25日の日経の「交遊抄」です。



和田倉噴水公園から丸の内ビル群を望む

### 交遊抄

シャンソン 歌手のリリ・レイ（長坂玲）さんに弟子入りしたのは、新聞記事がきっかけだった。中高年のシャンソンブーム。腰痛でゴルフやテニスができなくなり、仕事以外の何かを探していた。

### 人生歌シャンソン

伊藤 雅治

5年近く前の冬、64歳の時に記事で紹介されていた教室で習い始めた。国内では珍しくフランス語で歌うシャンソンを教える、発声法からたたき込む本格的な教室。歌もフランス語も初めての私を、レイ先生は「すべやめるのでは」と思っていたらしい。ところが、自分の知っている日常とは全く違う別世界の楽しさに引き込まれた。レイ先生の師である野宏先生（現日本シャンソン協会会長）の前で歌い、「ピアノに合わせてフランス語で歌うのはまだ早い」と指摘されたこともあったが、レイ先生が「がっかりしないで続けなさい」と励ましてくださった。医者が患者に指導するのと違い、1回のレッスンで1つか2つのことしか言わず、一つひとつ積み重ねながら教えていく、上手な教え方にも驚いた。

本物のシャンソンを根付かせたいという先生から、イペントの実行委員長に指名され、普及活動のお手伝いもするなど、人生の喜怒哀楽を歌うシャンソンの世界にすっかりはまっている。（いとう・まさはる 全国社会保険協会連合会理事）



伊藤雅治

日本経済新聞 2011年11月25日付（転載許諾済み）

## Weblog 白い雲

## 最近のエントリー

2011. 9-11

本紙の兄弟版として、Web版「白い雲」を開設しています。Weblogでは、私の日々の活動、劇評、その時々のお思いなどを紹介しています。ぜひアクセスしてみてください。

伊藤茂昭 白い雲

検索

[www.shiroikumo.jp](http://www.shiroikumo.jp)



2011.11.19

チャリティウォーク&ランに参加  
雨の中を歩いた半日でした



2011.11.07

火消  
うれしかった誕生日のプレゼント



2011.10.12

新潟県立高田高校生事務所訪問  
昨年に続いて二度目です



2011.10.02

ひょうたん  
杉並を散歩中に見つけました

## 2012年 TAKARAZUKA 宝塚 劇場へ行こう！

新しい年を迎えますが、宝塚歌劇団にとって100周年がすぐそこまできた感じがいたします。2011年、「誰がために鐘は鳴る」「ロミオとジュリエット」「ファントム」などが印象に残りますが、今年もまた大いに期待したいと思います。

新年の東京宝塚劇場の公演は星組から始まり、花→月→雪→宙と続いて後半は順序が少し入れ替わって各組2回ずつの10公演、12月の雪まで続きます。

さて、1月星組「オーシャンズ11」は、アメリカ映画から。「袖希礼音」扮する刑務所から出所した主人公が犯罪ドリームチームをつくって金庫破りなどの犯罪を行う中での友情、愛憎を描いたもの。お正月から楽しむに充分と思っ出て出かけます。海洋生物と環境問題を扱った同名の映画があるようですが、宝塚のもととなるアメリカ映画は2001年ですから、もちろんこちらが題名先使用。

2月は花組「復活」。トルストイの有名な小説の舞台化。再演というので調べてみると、初演は1962年「春日野八千代」と「那智わたる」で題名は「カチューシャ物語」。帝政ロシアの青年将校と召使カチューシャとの物語。蘭寿とむと蘭乃はなの演技を楽しみたい。これを機に青春時代に戻ってトルストイなど読んでみるのも宝塚の余録。

3月の月組。霧矢大夢の退団公演。タイトルは「エドワ

ード8世」、米国籍夫人との恋愛がもとで国王退位に至るが、端的に「王冠を賭けた恋」の方がわかりやすいか。

きりやんの退団はさびしいがこれも宝塚の常。また新しいトップが一人生まれることに期待したい。新トップといえ、最近「組替え」が激しい。技量、バランスなどから納得できるものであればよいが、あまりに激しすぎるとマイナス面もある。などと考えつつも、今回ばかりは、他の組からの抜擢を期待するファンが多いように思うが…。

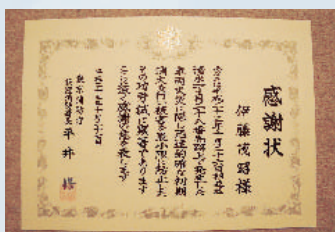
話がそれたが、関東では東京宝塚劇場での本公演のほかに、日本青年館の公演、そして地方公演として、横浜、市川などの公演がある。これらを数えると20公演位はあり、とても全部見るなどできない。

さて、日本青年館公演で面白そうなものといえば、1月雪組「Samurai (サムライ)」である。パリコミュンで戦ったパリ市民の中に坂本龍馬を慕う薩摩藩の前田正名という士族がいたという実話をもとにした作品。原作月島総記「巴里の侍」も読んでみたい。

また5月花組の青年館も、内容は公表されていませんが何をやるのかひそやかに期待しています。

皆さんもぜひ劇場へ。

シゲニー・イトン



2011.11.01  
荻窪消防署長から感謝状  
「朝から消火活動」に対して



2011.10.25  
〜つなげよう花笑み〜  
丸の内仲通りでガーデニングショー



2011.10.14  
春秋会ファミリーパーティー  
ビンゴで「一等賞の iPad」が当たり!



2011.09.28  
ヒューマンライツ・ナウで講演  
「弁護士としてどこに向かって生きるか」



2011.09.23  
花と蝶  
台風一過の晴れた日、昼の散歩で



2011.09.12  
ミネルバの会の講演を聞く  
古川元久経済政策担当大臣の勉強会

## シティユーワ法律事務所 弁護士紹介

パートナー 田中 幹夫

当事務所では、高い専門性を有する経験豊富な弁護士たちが多様で広範な事案を日々取り扱っています。田中幹夫弁護士には、ドイツに代理店契約などを締結して事業を行っている私の顧問会社について、事案を担当してもらいました。ヨーロッパの代理店法制は独特で、また労働法の隣接領域にも位置付けられているので、その道に詳しい担当者が必要です。また、彼は交通機関や歴史的建築物を好み、写真も得意です。2枚ほどご紹介します。

(伊藤 茂昭)

私は国際法務に特化しており、内容的には合併・買収・流通(欧州の代理店保護法制は日本で余り知られておらず、要注意です)等の各種契約締結交渉や、クロスボーダー紛争の和解交渉まで多岐にわたります。業種的には医療機器・医薬品・自動車部品・エレクトロニクス・エネルギーが多く、地理的には通算で12年以上住んでいたドイツとの縁は深く、クライアントが相手方のいずれかがドイツ語圏の企業という日独法務は仕事全体の3分の1から半分を占めます。その場合も契約は英語なので、インバウンド案件の例でいえば契約のドラフティングは英語、ドイツ側との口頭やメールでのやり取りはドイツ語というパターンが多いですね。まだ少ないですがロシア案件も増えつつあります。人の縁とは面白いもので、少年時代ドイツの現地校で第2外国語がロシア語だった(他の選択肢はラテン語しかなかった)のが最初の縁で、フランクフルト勤務時代に一時その事務所のモスクワ事務所を兼務したりしましたが、一番印象に残っているのは2005年の愛知万博の際に万博協会の依頼で永久凍土からの出土マンモスの展示の為に連邦政府やサハ州政府等と交渉して、期限内に出展契約に漕ぎ着けた件です。

このように今日の国際法務は地理的広がりが大きいので、朝は北米、昼はアジア・ロシア、夕方からは欧州、深夜は再び北米、と地球を一巡

する形で電話会議が終日続く日もあります。しかし重要な交渉では、フェイス・トゥー・フェイスの会議で相手の反応を見つつ落とし所を探しながら一気呵成に書面化してしまうのが最も効率的です。特に国際法務では弁護士が最も顧客に貢献できる局面は交渉済のdone dealの文書化作業ではなく、交渉の場そのものです。そこで必然的に海外出張が多く、特に多かった2011年は12月初頭現在で既に15回(独10、米・露・土・韓・ベルギー各1回)を数えます。出張が報酬面でクライアントの過大なご負担にならないような方法を考えております。

国際法務の質と迅速さを担保する方法には①自ら海外に支店を設置する方法と、②法律事務所のネットワークに所属する方法があります。私はいくつかの海外の事務所を経験しましたが、②が明らかに優れていると断言できます。それは既に各地で定評のある事務所と組むので当初から内容的に専門化しており、地理的カバー範囲が広く、かつ立ち上げコスト等が不要で低コスト構造だからです。②の場合はネットワークの質が重要で、当事務所はWorld Law Groupという世界の一流事務所のみが参加を認められるネットワーク(メンバー数51、事務所数275、弁護士数15000名超)に属し、成長著しいアジアを含む世界規模でリーガルサービスを提供しています。

### 【経歴等】

一橋大学・英国ケンブリッジ大学大学院卒、東京・ブラスセル・フランクフルトの大手法律事務所を経て2004年以降シティユーワ法律事務所パートナー。日弁連国際交流委員会幹事、第一東京弁護士会国際交流委員会副委員長・ドイツ部会長。World Law Groupアジア地区ディレクター(2010～2012)、International Association of Defense Counsel(本部シカゴ) International Committee委員、日露法律家協会事務局長、アジア国際法学会委員。英語、ドイツ語に堪能。

### 【主な著作】

「欧州流通法」(日経ビジネス2009年5月号)、「ロシア企業とのライセンス契約」(青林書院『知財ライセンス契約の法律相談』所収)、「欧州通貨統合の取引実務への影響」(NBL644号)、『Handbuch des Vertriebsrechts』(『流通法ハンドブック』日本法の部、Verlag C. H. Beck社)、2008年7月以降ドイツ商工会議所会報にドイツ語の日本法記事を毎月連載中。

### 【主な講演等】

独ヘッセン州立マールブルグ大学法学部講師(1998～1999)、ドイツ政府主催「G8法の支配に関する専門家会議(G8 The Experts Conference of the Rule of Law)「法の支配と経済」部会 共同議長(於ベルリン、2007年11月30日)、日独交流150周年記念法律学シンポジウム「Rechtstransfer in Japan und Deutschland(日独における法の継受)」において、「Rechtstransfer und globaler Wettbewerb zwischen Rechtssystemen(法の移転と法制間の世界的競争)」について講演(2011年)。

## 革命広場駅ホーム2題 —武装兵と人権宣言—



### モスクワ・革命広場駅

モスクワ地下鉄3号線・革命広場Площадь революции駅。林立する武装兵の像が、ロシアという国の統治には武威が必須という「坂の上の雲」の一節を思い出させる。同市の地下鉄にはソ連時代のイデオロギー装飾が豊富で、91年の市場経済移行後も、これらは歴史遺産として保存されている。



### パリ・コンコルド駅

パリのメトロ12号線・コンコルドConcorde駅。同駅の上にあるかつての革命広場でルイ16世とマリー・アントワネットは断頭台の露と消えた。壁一面に一見ランダムに書かれている文字は、人権宣言のテキストだという。

photo & text by Mikio Tanaka



## シティユーワ法律事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2  
丸の内三井ビル(受付7F)  
Tel 03-6212-5500(代表) Fax 03-6212-5700  
URL [www.city-yuwa.com](http://www.city-yuwa.com)

### 編集後記

白い雲をお届けします。月日の流れの中で大過なく57号を数えることが出来ました。これも皆様のおかげと改めて御礼申し上げます。事務所のパートナー弁護士の紹介は今後も継続する予定です。どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。(伊藤 茂昭)

季刊「白い雲」通刊57号 2012年1月発行 発行人:弁護士 伊藤茂昭  
編集・制作:株式会社創林社 印刷:神谷印刷株式会社